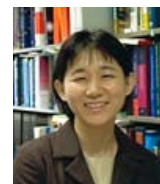


EU憲法の行方

民主主義と透明性の向上を目指す

EU憲法の正式名は、「欧州憲法を制定するための条約」である。この憲法条約は、EUの全加盟国、すなわち、25カ国において、各国の憲法上の手続に従い、批准されて初めて発効すると同条約 IV - 447条に定められている。批准の方法としては、国民投票を行う国もあれば、議会の承認で十分とする国もあり、統一されていない。議会の承認で十分とされるオーストリア、イタリア、ハンガリーなどのEU加盟国内の10カ国以上において既に批准手続は終了している。



法学部助教授
中西優美子

仏、オランダで可決

国民投票を要する加盟国スペインにおいて、2月に行われた国民投票では、投票率は42・3%にとどまっていたものの、賛成票は76・7%に達し、問題なく可決され、順調なすべりだしを見せた。しかし、5月にフランスで行われた国民投票では、投票率が70%の中で54・8%が反対票を投じ、同憲法条約は否決された。さらに、6月に行われたオランダでの国民投票では、投票率63%で、反対票は61・7%という結果になった。これらの結果を受け、6月中旬にブリュッセルで開催されたルクセンブルクを議長国とする欧州理事会では、批准手続を続行するあるいは凍結する判断をまだ批准手続を終えていない各加盟国に任せ、1年後にもう一度この問題を話し合う旨の宣言がだされた。

では、欧州憲法条約とは、どのようなものであるのか。第一に、起草過程について述べることにする。これまでのEC/EU諸条約は、政府間会議で実質的に内容が同意されるという形をとっていたが、欧州憲法条約の起草過程は、それらとは異なっている。まず、構成国政府の代表のみならず、国内議会の代表、欧州議会の代表、欧州委員会の代表から構成される欧州諮問会議が召集され、2002年2月から約一年半をかけて、憲法条約草案が作成された。このことは、欧州憲法条約草案の作成段階において、国内議会と欧州議会の議員が加わることでこれまでより民主主義的に作成されたといえることができる。また、欧州諮問会議における作業文書は特設ホームページ上で、自由に閲覧することができ、また、欧州憲法条約につき、市民は意見を特設ホームページ上で述べるようになっていた。すなわち、起草過程において、透明性と市民の参加が確保されていたと言えるであろう。欧州諮問会議は、03年7月10日に任務を終了し、その後、政府間会議が開催され、作業を引き継いだ。欧州憲法条約の条文は、若干の修正を加えられたものの、欧州諮問会議による憲法条約草案の骨組みおよび実質的内容は維持された。そして、最終的に04年10月29日に加盟25カ国が欧州憲法条約に調印し、その後、各国で批准手続が始められるに至った。

第二に、その内容はこういったものであるのか。欧州憲法条約は、前文と四つの部から構成され、総条文数は、448カ条である。第一部が連合の目的、連合の権限および加盟などのEUの基本事項について定めている。第二部が欧州連合市民の権利を保障するための基本権憲章を定めている。基本権憲章は既に00年12月にパリのニースで開催された欧州理事会で合意されていたが、当時は厳粛な宣言にとどまり、法的拘束力をもつには至らなかった。しかし、憲法条約においては、その基本権憲章が前文を含め、ほぼそのままの形で取り入れられる形となった。基本権憲章には、死刑の禁止などの他、人間のクローン再生の禁止や個人情報保護など21世紀的な新しい人権が規定されている。

また、欧州憲法条約はEU自らによる欧州人権条約への加盟目標も規定しており、欧州憲法条約が発効すれば、欧州連合市民は国内憲法、欧州人権条約、さらに欧州憲法条約と三重に基本的人権を保障されることになる。第三部は、EUの政策と運営と題され、域内政策や対外政策など具体的なEUの政策が規定されている。第四部は、一般最終規定となっている。

統一国民投票の実現を

欧州憲法条約は、現行のEC/EU法を大幅に変更するものではなく、むしろ現行の法制度を市民に目に見える形で示し、透明化を進め、また、「民主主義の赤字」と非難される事項を欧州議会の権限拡大や国内議会の参加制度の導入を通じて改善するものである。

今回、フランスとオランダでの国民投票で欧州憲法条約は否決されてしまったが、その反対理由は政府に対する不満票であったり、既になされたあるいは既に決まっているEU拡大に対する反対票であったりす

る。欧州連合市民に対し、直接欧州憲法条約の是非を問う、EU全体における統一の国民投票が将来はなされるべきであるとする。また、フランスやオランダにおける国民投票による欧州憲法条約の否決は、欧州統合の終わりではなく、さらなる飛躍のための助走期間を与えるものと捉えられる。

(なかにし・ゆみこ) 法学博士(ドイツ・ミュンスター大学)。研究テーマはEU法。

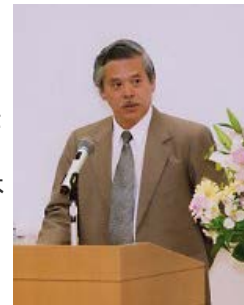
法学部主催学術講演会

河東氏、吉村氏が講演

法学部主催の学術講演会が神田キャンパスで行われた。

6月2日は日本政策投資銀行上席主任研究員で、東京大学・早稲田大学(アジア研究所)客員教授の河東哲夫氏を講師に招き、仲井斌教授の司会で「ソ連崩壊とその意味—天が落ちる時—」と題した講演会が行われた。ロシア革命からソ連崩壊までの情勢を在ロシア日本国大使館公使時代の体験談を交えて解説し、「日本にも当然崩壊の可能性がある、自国の意見、立場を通せるような外交力を身につける必要がある」と論じた。

また、5月27日は、矢澤昇治教授の国際司法の講義の一環として、米国弁護士で公認会計士の吉村真宏氏(昭58経営)が「涉外取引と弁護士の役割」をテーマに、米国での訴訟弁護士の実務・活動内容について講演した。



ロシア革命からソ連崩壊までの情勢を解説する河東哲夫氏

留学生との交流ボウリング大会

20回記念で日高学長が始球式

「第20回留学生と日本人学生の交流ボウリング大会」が6月28日、向ヶ丘遊園駅の「BIGボウル」で学生、教職員ら68人が参加して開かれた。

大会に先立ち20回記念式典が行われ、大会を主催し長年、奨学金支給などで留学生をはじめとする専大生をさまざまな形で支援している中和ビルの山田長満社長に、日高義博学長から感謝の意と共に記念品が贈られた。

始球式では、日高学長が居合道袴で登場。見事ストライクを決めると拍手喝采を浴びていた。大会後には、表彰式を兼ねて懇親パーティーが行われた。



中央右が日高学長、左から2人目が山田社長

留学生交流バスハイク

“さくらんぼ狩り”楽しむ

留学生交流バスハイクが6月5日に行われ、39人が参加。富士山5合目散策とさくらんぼ狩りを楽しみ、交流を深めた。

当日は終日、あいにくの曇り空で残念ながら富士山を仰ぎ見ることは出来なかったが、さくらんぼ農園では、みずみずしい赤い果実が見事に実っており、ほんのり甘酸っぱいさくらんぼに次々と手が伸びていた。



さくらんぼ農園で全員そろって

二部軟式野球部

4度目の「全日本」出場へ

二部の軟式野球部が関東大学二部軟式野球リーグ戦を3勝1分で制し、5年ぶり4回目の全日本大学軟式野球選手権出場を決めた。

部員数40人。神田B3体育室や自治体のグラウンドを借りて練習に励んできた。「部員みんながまとまり、リーグ戦を勝ち抜くことが出来た。全日本選手権でも1プレー1プレーを大切に、優勝目指して頑張ります」と今井智也主将(法3・帝京高)。初戦

(8月14日、県営大宮公園野球場)の相手は長野県代表・信州大学長野と東北地区代表・東北福祉大の勝者。エース・高橋龍雲さん(商3・元石川高)を中心とした粘り強い、守りの野球で上位進出を目指す。



関東大学リーグを3勝1分で制した二部軟式野球部ナイン
(左端が今井主将)

◀専修人の新しい本▶

「アメリカの経済<第2版>」

鈴木直次ほか 著

外国の経済を学ぶ効用は、われわれの世界に対する視野を広げ、わが国経済社会への理解を深める手がかりを得ることにある。

もともとわが国でのアメリカへの関心は高かったが、最近では「超大国」として世界に君臨する度合いが強まるにつれ、その傾向はますます強まっている。しかし、多様かつ複雑なアメリカ経済の全体像を理解することは容易ではない。本書は、数年前に刊行されたテキストの改訂版。マクロ経済から産業、企業、貿易まで、経済を構成する主要な領域ごとに実態分析を積み上げる方法がとられている。

(岩波書店・本体2600円+税)

著者(すずき・なおつぐ) = 経済学部教授。担当はアメリカ経済。



「東北アジアの法と政治」

内藤光博／古川純 編

冷戦終結後のアジアにおいて、なお冷戦構造が存続する地域として「東北アジア」をとらえ、日本・韓国・北朝鮮・中国・台湾の諸問題と今後の発展方向を研究テーマとした日中韓の法学・政治学を中心とする諸分野の専門研究者による共同研究の成果である。本書では、戦後補償問題と歴史認識問題、国際関係、諸国内の法体制の変革と方向性を分析し、最後に結びとして平和保障の展望のあり方と展望を提起している。東北アジアの法と政治に関心と興味をもっている読者には、格好の書である。(専大出版局・本体4400円+税)

編者(ないとう・みつひろ、ふるかわ・あつし) = ともに法学部教授。担当は憲法Ⅰ・Ⅱ。



「ビジネスプロセスのモデリングと設計」

小林隆 著

パソコンや携帯電話の商品寿命はわずかに数カ月だといわれる。かつてのウォークマンのように、商品そのものの魅力によりベストセラーを維持することが困難になった。このような時代では、物の売り方＝ビジネスプロセスが重要となる。

本書は、最適なビジネスプロセスを設計するためのモデリング方法と設計技法を提供する。実際のビジネス領域の事例をふんだんに盛り込み、具体的に理解できるように配慮されている。企業の経営企画や情報システム部門に属するエンジニア、そして、そのような職業をめざす学生諸君の参考書となる。(コロナ社・本体2500円+税)

著者(こばやし・たかし) = ネットワーク情報学部教授。担当は情報システム開発論。

